

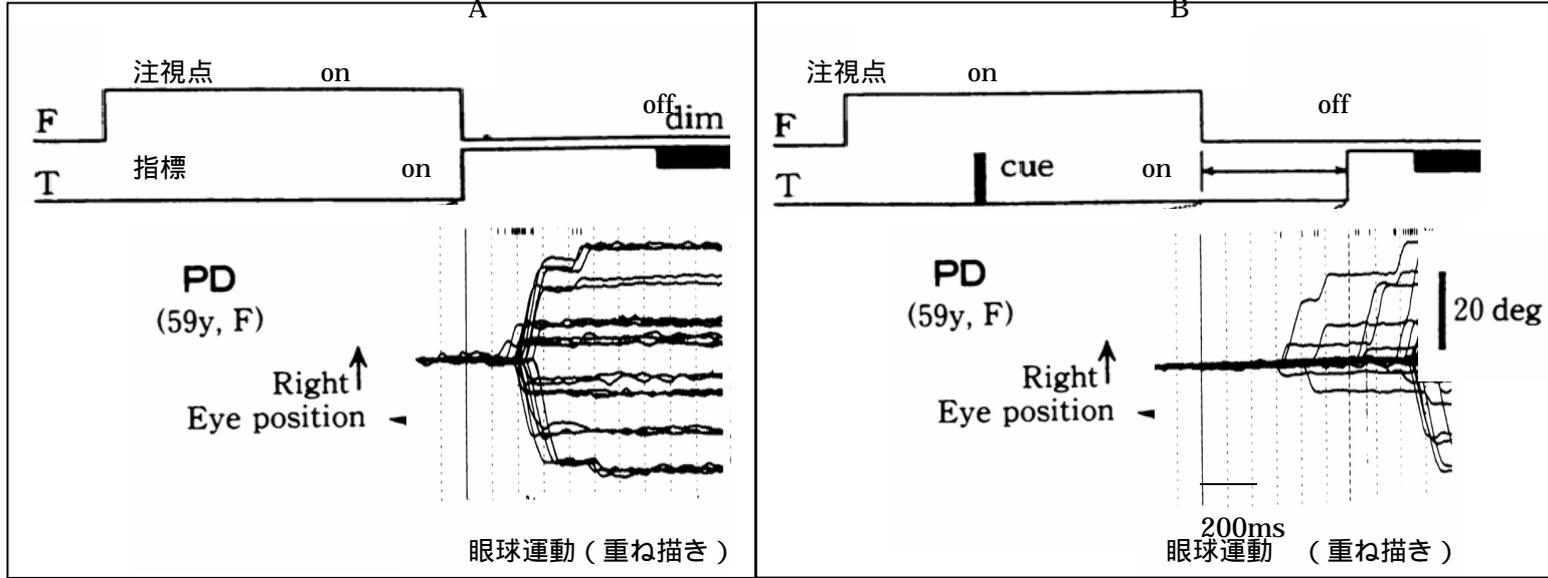
選択問題 次の2問のうち、一つを選択し解答してください。

問1 下の図は、眼球運動を記録して高次脳機能の検査を試みた結果である。被験者は、ある脳部位に損傷のある患者さんである。

A： 真ん中の注視点（F）が点灯している間はずっと見続け、その点が消え周辺に新たな指標（T）が点灯したとき、直ちに目をTに向けるように指示した。いろいろな部位にTを点灯させたときの結果がAの下に示してある。

B： 真ん中に注視点（F）が点灯しているのはAと同じである。しかし、注視点（F）が点灯している間に周辺に手がかり刺激（CUE）が点灯する。しかし、被験者はそれに目は向けず、場所を覚えて置くように指示し、その後、注視点（F）が消灯したとき、手がかり刺激が点灯した場所に目を向けるように指示した。十分な時間が経過した後に手がかり刺激を再点灯させた。この時の眼球運動がBの左下に示してある。

この結果をもとに、損傷を受けた脳部位の機能を、考察してください。



問2 ほとんどの感覚は交差性に大脳感覚野に投射するが、嗅覚は同側性である。Sperryは、脳梁切断した分離脳患者では右の鼻孔に栓をして左の鼻で匂いを嗅がせると、何の匂いであるか言葉で説明できるが、右図のように左鼻孔をふさぎ、右の鼻でバラの匂いを嗅がせた時、何の匂いか答えられず、さらに、ついたてで見えなくした手でその匂いに対応するものを選ばせると正しく、バラの花を手にとっているが、やはり何を手にしているか、言葉にすることができなかつた、と報告している。

以上の現象から、体性感覚、運動指令、嗅覚、左右大脳半球の機能について討論してください。

